

ネイチャーポジティブに向けて我々は何ができるのか
～ 東大食堂メニュー カーボンフットプリント見える化キャンペーン ～

東京大学 GX学生ネットワーク (GXSN)

Nature Positive University (NPU) プロジェクト
Race to Zero 計画 プロジェクト

自己紹介



近 恵理奈

工学部
都市工学



水野 那奈子

理科二類
都市工学



秋山 知也

人文社会系研究科
社会心理



山口 空

農学生命科学研究科
生化学

目次

01 GX学生ネットワークとは

03 CFP見える化キャンペーン

02 NPUプロジェクトの活動

04 食堂利用者アンケートの結果



01

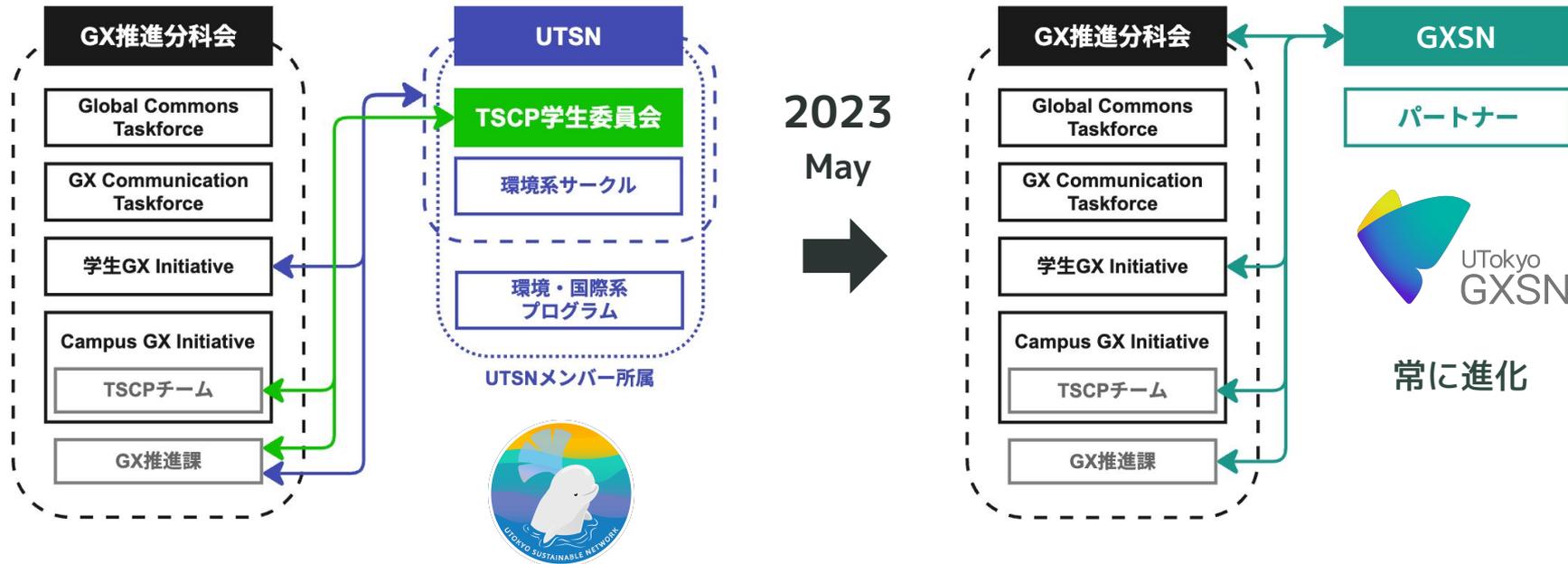
GX学生ネットワークとは

Photo: UTokyo Hokkaido Experimental Forest

GX学生ネットワーク (GXSN)

東大を良くしたい!

東大からアドバイスやサポートを得て、東大のGX推進に取りくむ東大生の集まり



GXSNの運営

学部・学年・国籍 分け隔てなく

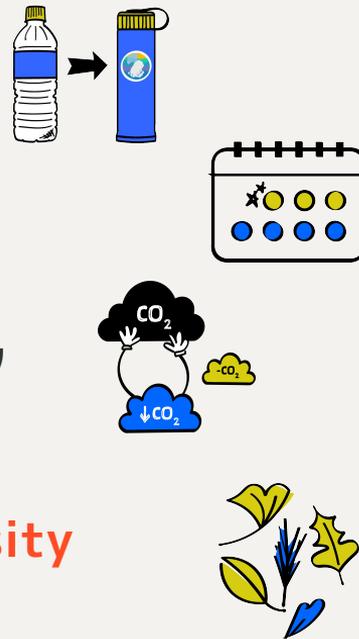
Working Group

- セントラルカウンシル
- デザイン



Project

- ウォーターサーバー
- プラントベースト食品
- コミュニティガーデン
- サステナビリティウィーク
- **Race to Zero 計画**
- **Nature Positive University**
- フードバンク etc.





ウォーターサーバー

1. 使い捨てごみを減らし
使い捨て文化を変える
2. 環境への意識を高める
3. 持続可能なライフスタイルと行動変容を促す
4. キャンパスコミュニティの
福祉と利便性を上げる



Original bottle



更新日： 2024-01-24

149752 L

299504

本分

給水されました！

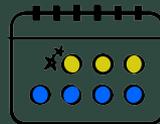
※ 2023-03-28からの駒場Iキャンパス内ウォーターサーバー#1~#12の抽出量の合計値。
本数は500 mLペットボトル換算。
※ 値が表示されないときは、データ更新作業中です。1~2日後に再度ご確認ください。

駒場I

駒場Iに13台 → 各研究科で導入

農学部 3号館 1F

サステナビリティウィーク



UTOKYO SUSTAINABILITY WEEK 2023



サステナビリティに取り組む
教員・学生のトークリレー

UTokyo Sustainability Talks

ウォーターサーバースタンプラリー/ ボトル抽選会
Water server stamp rally and bottle lottery

期間限定Food Menu (生協食堂)
Food Menu at CO-OP Cafeteria

駒畑ハーベストと種まきフェスタ
Komabatake Harvest and Plant Fest

詳しくこちら

For more
details check
here



UTokyo Sustainable Network

身近な取り組みを通して
東大生がサステナビリティについて
考えるきっかけを創りたい

- UTokyo Sustainable Network (UTSN) **主催**
 - GX推進分科会
 - 気候と社会 連携研究機構 (UTCCS)
 - エネルギー総合学 連携研究機構 (CROCES)
 - 未来戦略LCA 連携研究機構 (UTLCA)
 - 東京大学 消費生活協同組合 (COOP) **後援**
- 共催

* 今年は4月に筑波大・お茶の水大・農工大と同時開催

6.5 ~ 6.9 17:00-19:00 EVERYDAY 21 KOMCEE UTOKYO SUSTAINABILITY TALKS 2023

サステナビリティに関わる教員・学生が総勢50名登壇します

DAY 3 (JUNE 7TH)

GLOBAL PERSPECTIVES:
REIMAGINING
SUSTAINABILITY: CO-
CREATING UTOKYO 2050
WITH FIVE SENSES
Interactive event
KOMCEE West 201

事前登録はこちら!

Register here!



DAY 1 (JUNE 5TH) 17:00-19:00

FOSTERING LOCAL ACTION:
BUILDING SUSTAINABLE COMMUNITIES TOGETHER



五十嵐 圭日子
農学生命科学研究科 教授
サーキュラー・バイオエコノミー/ナイチャー・ボジティブ/フエルビイング: 最速解はどこにあるのか?



PULIDO Jesus
グローバル教育センター
特任講師
フォリピン・セブの都市貧困地域でのコミュニティリサイクルへの挑戦



香坂 玲
農学生命科学研究科 教授
地域の風土・文化的背景:
地表的表示の保護、遺産登録とコミュニティ



AKINDELE Tito
グローバル教育センター
特任講師
Chemical Solutions for Sustainable Communities



横張 真
工学系研究科 教授
Re-defining "Green Infrastructure"



MORENO-PEÑARANDA Raquel
グローバル教育センター
特任講師
Local biodiversity and human wellbeing



左右田 智美
DLX Design Lab 特任研究員
OMNI Microplastics & Marine Litter project Design-driven community participatory project towards the ocean garbage problem



吉田 丈人
農学生命科学研究科 教授
生態系を活用した持続可能な防災減災



小松崎 俊作
工学系研究科 准教授
NIMBY問題としての
高レベル放射性廃棄物処分

DAY 4 (JUNE 8TH) 17:00-19:00

EMPOWERING INDIVIDUALS:
LIVING SUSTAINABLY, ONE CHOICE AT A TIME



平尾 雅彦
先端科学技術研究センター
シニアリサーチフェロー
消費者の選択による持続可能な消費と生産/ワケの確保



GRANDI-NAGASHIRO Cecilia
新領域創成科学研究科
Sustainable lifestyles and leading a sustainability community



竹内 涉
生産技術研究所 教授
One health one world research initiative to consider human, animal and environmental health



杉山 正和
先端科学技術研究センター 教授
高効率太陽電池と再生可能燃料



栗栖 聖
工学系研究科 准教授
持続可能な消費促進に向けて
どのような働きを市民に伝えるべきか?



GASPAROTOS Alexandros
未来ビジョン研究センター 准教授
Linking cultural ecosystem services and human wellbeing: implications for a sustainable campus



木見田 康治
工学系研究科 特任講師
サーキュラーエコノミー時代の
ビジネス



橋本 禅
農学生命科学研究科 教授
Biodiversity, ecosystem services, and our consumption



BERMAN Naomi
グローバル教育センター 特任講師
Promoting sustainability:
rethinking campuses as
restorative environments

DAY 2 (JUNE 6TH) 17:00-19:00

GLOBAL PERSPECTIVES:
WORKING BEYOND BORDERS FOR A SUSTAINABLE FUTURE



渡部 雅浩
教授 大気海洋研究所 教授
Messages from the IPCC AR6 Reports-
Building a sustainable future based on
scientific evidence -



Droz Lařna
新領域創成科学研究科 特任教授
Assumptions underlying nature
conservation



GIRAUDOU Isabelle
総合文化研究科
附属国際環境学教育機構 准教授
If "sustainability" is the answer, what
is the question? Questioning the
spatio-temporal workings of law in the
Anthropocene



石原 広恵
新領域創成科学研究科 准教授
Abigayil Bandon
新領域創成科学研究科
外国人協力研究員
SeaFood Sustainability: Beyond
Certification



菊池 康紀
未来ビジョン研究センター
准教授
将来社会のシナリオ分析に基づいた、
サステイナビリティのためのシステム工学



佐藤 みどり
総合文化研究科
附属国際環境学センター 特任講師
Planetary health and livable
planet for future of our children



亀山 康子
新領域創成科学研究科 教授
気候変動に関する国際協定の研究



Tavares Vasques Diegoo
東京大学理学系研究科附属植物園
特任助教
Herbarium collections as an important tool
for biological conservation: the case of the
University of Tokyo T1 Herbarium



岩田 忠久
農学生命科学研究科 教授
Sustainable Bioplastics for the
Earth and People

DAY 5 (JUNE 9TH) 17:00-19:00

OUR PLANET, OUR UNIVERSITY:
CATALYZING UTOKYO GREEN TRANSFORMATION (GX)



藤井 輝夫
東京大学総長
Opening Remarks



大久保 達也
東京大学理事・副学長
東大GXについて



中島 達弥
東京大学生活共同組合 専務理事
東大生協のGX



HAN Leah
総合文化研究科修士2年
TSCP学生委員会
UTokyo Sustainability Awareness Survey



YAMAGUCHI Daiki / PATKI Mahi
工学系研究科修士1年/
教養学部4年
UTSN - Water Server Project



Vedant/Swetha/Lottie/Maika
教養学部3年/教養学部3年/
教養学部2年/教育学部3年
UTSN-Plant-Based Menu Project



NAKATANI Yuta
工学系研究科修士2年
TSCP学生委員会
Campus building sustainability
assessment project



AKIYAMA Tomoya / ENDO Mizuki
人文社会系研究科修士1年/
教養学部2年
UTSN - Race to Zero Project



YAMAGUCHI Sora
農学生命科学研究科修士3年
UTSN - Nature Positive
University Project

Nature Positive University (NPU)



UNITED NATIONS DECADE ON
**ECOSYSTEM
RESTORATION**
2021-2030

Global パートナーシップ
&
Global ネットワーク



Universities



Countries



Pledges



Student
ambassadors

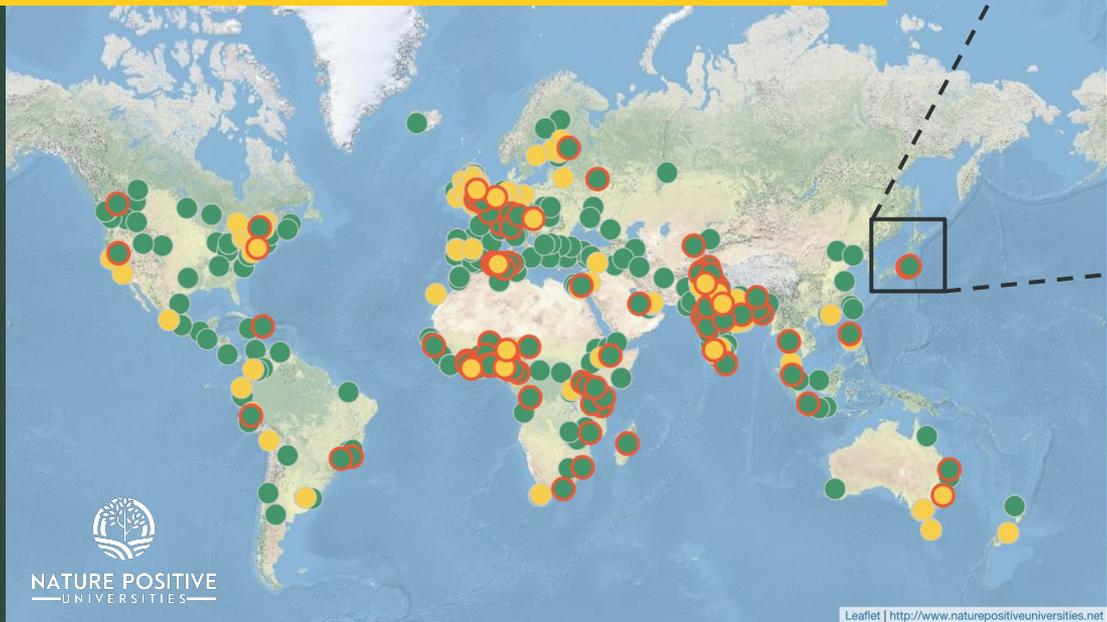
キャンパス / コミュニティ / 地域
/ サプライチェーンなどにおける
「ネイチャーポジティブ・アクション」
を目指す人が500以上の大学から参加

東大でも「ネイチャーポジティブ・アクション」を推進

NPUの参加大学

137大学が Pledged

ベースライン分析 → 目標設定 → 活動 → 年次報告



- Member
- Pledged
- Student ambassador



02

NPUプロジェクトの活動

Photo: UTokyo Chichibu Experimental Forest

東大NPUプロジェクトの計画

キャンパス・大学所有地の

Biodiversity

: ベースライン調査

- 生物多様性モニタリング/監査の実施
- 報告書の作成
 - 炭素の隔離/貯留
 - 生物種のインベントリ

運営・サプライチェーンの

Impact

: フットプリント分析

- データ収集
 - 食品購入 (COOP)
 - 調達 (Race to Zero チーム)
- 生物多様性フットプリント算出

教育・アウトリーチを通じた

Promotion

: 生き物調査イベントBioBlitz

- 市民参加型のBioBlitzをキャンパス内外で開催
 - Citizen science 推進
 - iNaturalistで可視化
- 各種イベントで報告/発表

Strategy & Action Plan

: ケーススタディ

- 東京大学の生物多様性戦略 & 行動計画 (UTBSAP) の策定
ベースライン・SMART目標 etc. → まずは各キャンパス・研究科/所からでも
- 将来的に国際的な基準や報告制度との整合化 Ex. SBT for Nature, CDP, TNFD



市民参加型の生き物一斉調査（BioBlitz）

子どもから
高齢者まで



専門家



学生



家族



社員

写真を撮影



1

アプリで共有



2

結果を報告



4

種類を同定



3



iNaturalist

大学を拠点に地域のみんなで生物多様性を見える化 → 生態系の保全・回復計画に活用

City Nature Challengeと同時開催

世界一斉みんなで生き物調査

弥生BioBlitz

2023年4月29日 (土) 10:00~12:30

BioBlitz (バイオブリッツ) は、決められたエリアにどんな生き物がいるかをみんなで一斉に調査するイベントです。実は、東京大学のキャンパスにいる生き物のことは、東大生もあまり分かっていません。世界規模のBioBlitzが開催される4月末、大学生と一緒に弥生キャンパスで生き物を探して写真を撮り、アプリで共有して生態系を可視化しよう！

プログラム

1. レクチャー：文京区の生物多様性と生態系サービス
2. ガイダンス：キャンパスを散策してみよう
3. バイオブリッツ：生き物を見つけて写真を撮ろう
4. 同定：見られた生き物の名前を調べてみよう

詳細・申込みはコチラ→



弥生BioBlitz

生きもの
観察



2023. 4/29 (Sat)



撮った生きものを
見せにきてくれた
子どもたち



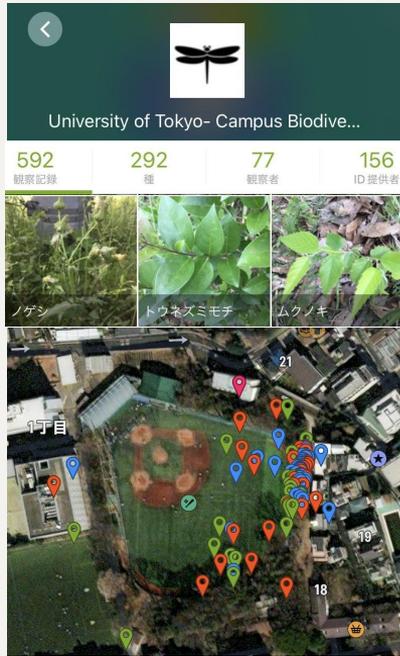
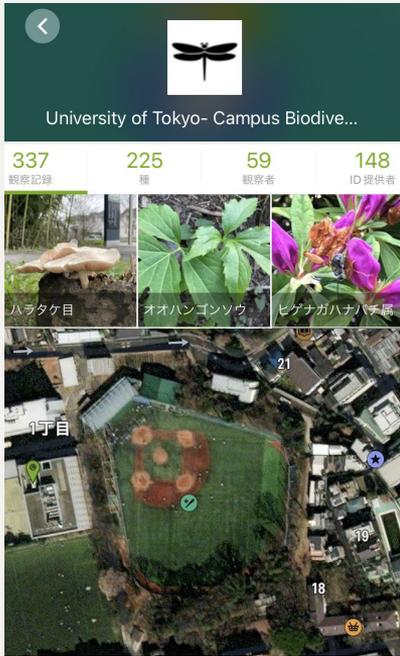
参加者 ~40人



開催前



開催後



- ・ 約250の観察記録、約70の生物種が追加
- ・ 弥生キャンパスの観察記録は約7倍に増加



City Nature Challenge in 2023

弥生キャンパス野球場

Worldwide as of May 1st ...

51,926

People

joined

190,228

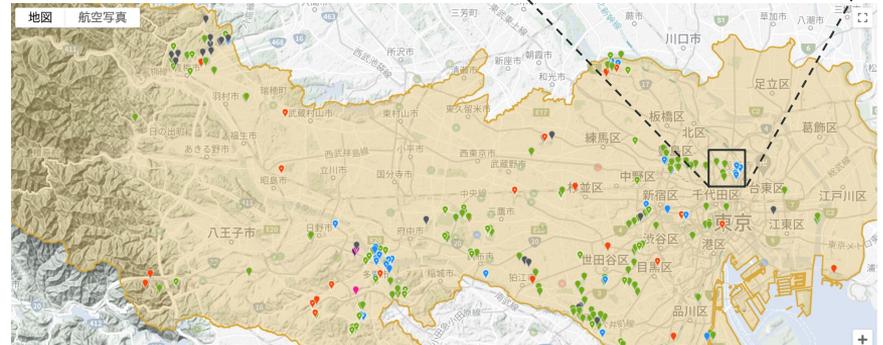
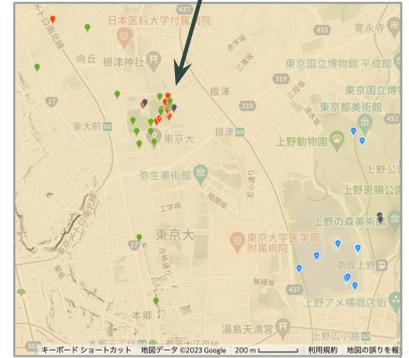
Species

identified

1,044,771

Observations

recorded



City Nature Challenge 2023: Tokyo (4/28 - 5/1)

詳細を報告する

東大駒場で いきものさがし

6/25 (日)
10:00 - 12:30

BioBlitz (バイオブリッツ) は、決められたエリアにどんな生き物がいるかをみんなで一緒に調査するイベントです。実は、東京大学のキャンパスにはいる生き物のことは、東大生もあまり分かっていません。大学生と一緒に駒場キャンパスで生き物を探して写真を撮り、アプリで共有して生態系を可視化しよう!

Mimela splendens

Euhadra quaesita

駒場BioBlitz

プログラム

1. レクチャー：生物多様性と生態系サービス
2. ガイダンス：キャンパスを散策してみよう
3. バイオブリッツ：生き物を見つけて写真を撮ろう
4. 同定：見られた生き物の名前を調べてみよう

対象

どなたでも
(親子でのご参加大歓迎!)

参加費

ひとり100円
(保険代を含む)

集合場所

東京大学駒場1キャンパス
1号館109号室

主催

UTokyo Sustainable Network
(utokyo.sustainablenetwork@gmail.com)

共催

- ・東京大学生物学研究会
- ・東京大学環境三四部

協力

- ・東京大学 未来社会協創推進本部
- ・GX推進分科会



UTokyo
Green
Transformation

お申し込みは
こちらから!



6/23(金)正午
締切

生きもの
観察

駒場BioBlitz



みんなで生き物一斉調査

駒場BioBlitz

2023. 6/25 (Sun)



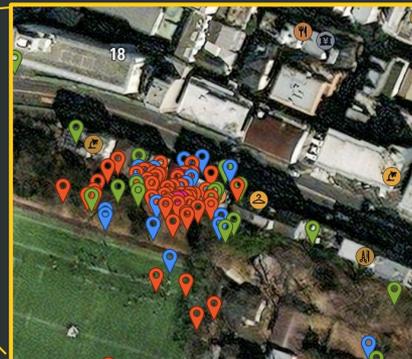
参加者 ~100人



開催前



開催後



2歳から68歳の約100名が参加し、約350の観察記録、約70の生物種が追加

ナナホシテントウ (*Coccinella septempunctata*) [Research Guide](#) トホシテントウ (*Diacheana admirabilis*) [Research Guide](#)



テントウムシ

オシオカラトンボ (*Orithetrum melania*) [Research Guide](#)



ショウリョウバッタ (*Acrida cinerea*) [Research Guide](#)



セイヨウミツバチ (*Apis mellifera*) [Research Guide](#)



トウヨウミツバチ (*Apis cerana*) [Research Guide](#)



ミツバチ

カシルリオトシブミ (*Eupsis splendens*) [Research Guide](#)



カナブン (*Pseudotorynomia japonica*) [Research Guide](#)



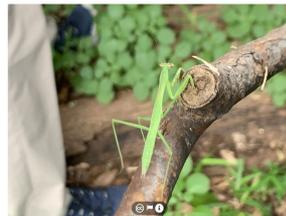
カブトムシ (*Trypoxylus dichotomus*) [Research Guide](#)



セマダラコガネ (*Exomalta orientalis*) [Research Guide](#)



オオカマキリ (*Tenodera sinensis*) [Research Guide](#)



ナナフシモドキ (*Ramulus mikado*) [Research Guide](#)



キイロクビナガハムシ (*Lilicerceris rugata*) [Research Guide](#)



クロウリハムシ (*Aulacophora nigripennis*) [Research Guide](#)



イタドリハムシ (*Gallerucida bifasciata*) [Research Guide](#)



キボシツツハムシ (*Cryptocephalus perelegans*) [Research Guide](#)



ヤツボシハムシ (*Gonioctena nigropagliata*) [Research Guide](#)



クズクビボソハムシ (*Lema diversipes*) [Research Guide](#)



ハムシ

オオイヌノフグリ (*Veronica persica*) [Research Guide](#)



ムラサキカタバミ (*Oxalis debilis*) [Research Guide](#)



ハコベバホオズキ (*Salpichroa organifolia*) [Research Guide](#)



ヒヨドリジョウゴ (*Solanum lyratum*) [Research Guide](#)



シジュウカラ (*Parus minor*) [Research Guide](#)

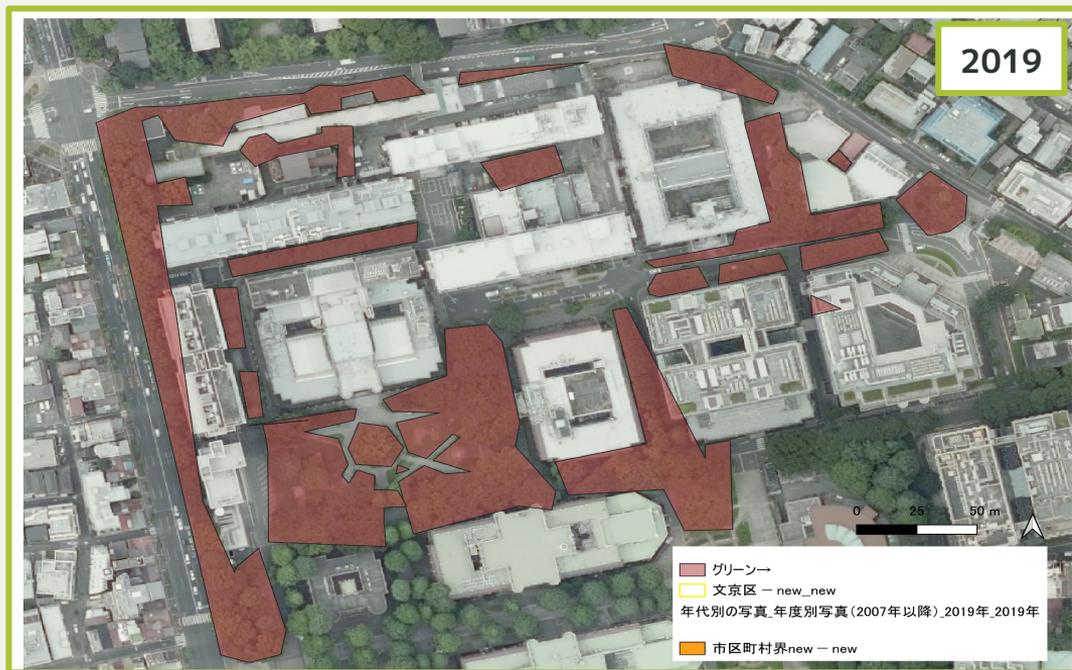


ヒガシニホトカゲ (*Plestiodon firmatus*) [Research Guide](#)



キャンパス緑地面積の変遷調査

航空写真の緑地を多角形で近似 → GISを使って多角形の面積を計算



グリーン - 地物数合計: 20, フィルタ: 20, 選択: 0

fid	面積	area	perimeter
1	5627.199718585...	5626.080485467...	892.2159165420...
2	511.6305928071...	511.5288207314...	150.2579893811...
3	157.6514749499...	157.6201117876...	115.0666398092...
4	620.4395927935...	620.3161595680...	120.2732542591...
5	690.7197027127...	690.5823215520...	177.27627510169
6	426.6903439350...	426.6054614363...	89.0181830754591
7	1729.340969352...	1728.996875775...	18.274761882614
8	48.40050021186...	48.39084740397...	28.58416221490...
9	556.2739773239...	556.1633009852...	89.79486290614...
10	235.8510238635...	235.8041064898...	4.4339145128343
11	240.0133203910...	239.9655720579...	73.27150221881...
12	58.41944731958...	58.40782647085...	36.15600600849...
13	375.8219754425...	375.7471963948...	92.2784854136...
14	3849.163859645...	3848.398145256...	404.4016186860...
15	2472.696948783...	2472.205164557...	327.3987030662...
16	240.7499973755...	240.7021146363...	74.95528143613...
17	152.4946439526...	152.464313785...	58.04893032693...
18	348.9696359764...	348.9002194103...	70.29469438505...
19	11,492,359,160,9...	11,490,064,223,77...	15,862,589,729,7...
20	2793.230562109...	2792.674840439...	346.0448566409...

COP28 サイドイベントでの発表

HYBRID EVENT

Hosted by:



جامعة عجمان
AJMAN UNIVERSITY



Nature Positive Universities

Student Ambassador showcase

1st Dec 2023 10:45-11:45

Al Ferjan Room, Mobility Pavilion
Greening Education Hub



MAYA HADDAD
AJMAN UNIVERSITY



EMILY STOTT
UNIVERSITY OF OXFORD



NELL MILES
UNIVERSITY OF OXFORD



FAVOUR ERAGBIE
UNIVERSITY OF BENIN



AYADI MISHRA
IIT BOMBAY



SORA YAMAGUCHI
UNIVERSITY OF TOKYO



VEDANT AGRAWAL
UNIVERSITY OF TOKYO



NANAKO MIZUNO
UNIVERSITY OF TOKYO



ERINA KON
UNIVERSITY OF TOKYO



AVERY MORIN
LAURENTIAN UNIVERSITY



ANASTACIA CHARTRAND
LAURENTIAN UNIVERSITY



HURAIRAH MUZAMMIL
AJMAN UNIVERSITY



COP28 UAE

This session shares actions taken for nature and climate across four continents on university campuses.

Actions include Bioblitzes to engage students with the wildlife on their campus grounds, schools outreach, tackling single use plastics, biodiversity footprints, and indigenous partnerships.

Come to be inspired by the range of activities students are leading and explore the amazing potential of empowering student action for nature across the globe.

#GenerationRestoration

Green Zone, Expo City Dubai



UNITED NATIONS DECADE ON
ECOSYSTEM
RESTORATION
2021-2030



03

CFP見える化キャンペーンの概要

CFP見える化キャンペーン

CFP（カーボンフットプリント）

= 直接・間接的に排出される温室効果ガスの総量を計算したもの

キャンペーンの概要

1. CFPが低い『オイルサーディン丼』の開発
2. 生協食堂の一部メニューのCFPの計算
3. **生協食堂でのCFPの表示**（1/22～1/26）
4. **アンケート**の実施



実際のメニュー表

プロジェクト実施体制

GXSNで取り組んだこと



CFP表示デザインの作成

□ アンケート広報の作成

□ アンケートの作成



ホームページ・SNS等を利用した広報



アンケート結果の分析

主催

- 東京大学消費生活協同組合
- 銚子発・CFPの見える水産加工品流通促進協議会

協力

- 東京大学 大学院農学生命科学研究科 国際水産開発学研究室
- 東京大学 GX学生ネットワーク(GXSN)
- 海洋アライアンス連携研究機構

CFP表示デザインの作成

デザインの特徴

- 3段階に色分け
 - 絵文字の表情
- 人目を惹き、かつ分かりやすいデザイン

実際に表示された主なメニュー

- オイルサーディン丼
- グリルチキン
- きつねそば

※いずれも緑（低）のデザインに該当

→利用者からの意見は後ほど！！

低



炭素排出量：

390 gCO₂-e

中



炭素排出量：

530 gCO₂-e

高



炭素排出量：

730 gCO₂-e

GXSN特設ページ

疑問・興味を無駄にしない

→アンケート回答後のページにリンク

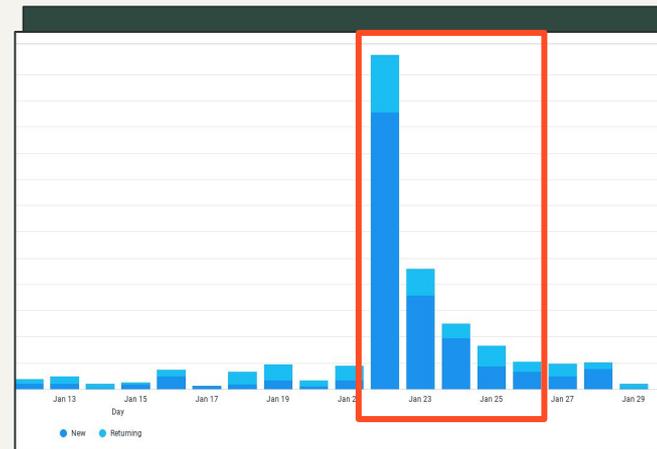
- 痒いところに手が届くことを意識
- 学生として、思いを伝えることを意識

→キャンペーン初日で訪問数は**300以上**！！

『GXSN CFP』で検索！



特設ページの一部



サイトセッション(訪問数)の推移
(赤枠がキャンペーン実施時)

アンケート概要

日時：1/22（月）～1/26（金）

回答数：1432通

インセンティブ

- 景品表示法に基づき、
抽選で30名に2000円分のポイントを配布

宣伝方法

- 名刺サイズの紙をレジで配布
- ポスターを掲示

回答数

本郷 中央食堂	駒場食堂	本郷 第2食堂	農学部 食堂	計
409	988	19	16	1432

簡単なアンケートへの回答で抽選で30名様に

クイズ有り!

2000 円分の
「学食マネー」をプレゼント!!

- 「学食マネー」は、食堂・購買の食品の決済に利用できる生協専用の電子マネーです。
- 大学生協の組合員はどなたでも「大学生協アプリ（公式）」のダウンロードとご登録でご利用いただけます。

レジで配布した紙

U Tokyo GXSN

アンケート内容（全12問）

1. 今日の生協食堂（学食）で、あなたは何を食べましたか？
2. 今日はどの食堂で食べましたか？
3. そのメニューを選んだ理由は何ですか？（複数選択可）
4. 今日食べるメニューを、あなたはどの段階で決めましたか？
5. 以下の4つの丼メニューの温室効果ガス排出量はどの程度だと思えますか？排出量の「小さい順」に並び替えてみてください。
6. 今日は一部のメニューに、このようなラベルが貼ってありました。あなたはこのラベルに気づきましたか？
7. このラベルは、メニューの温室効果ガス排出量を計算、表示したものです。ラベルの意味は、分かりやすかったですか？
8. 炭素排出量表示ラベルは、あなたのメニュー選びに影響を与えましたか？（ラベルに気づいた方のみ）
9. 「自分が環境に良い（悪い）メニューを食べても、環境問題にあまり影響はない」と、あなたは思いますか？
10. 炭素排出量表示ラベルの取り組みについての要望・改善点を教えてください。（複数選択可）
11. 以下に挙げるのは、食堂からの温室効果ガス排出量を減らす取り組みの例です。あなたが支持するものを全て選んでください。支持するものがない場合は「全て支持しない」を選択してください。
12. どのような取り組みがあれば、あなたは環境に良いメニューを選びますか？自由に提案してください（任意回答）



04

食堂利用者アンケートの結果

東大生が「環境に良い」と思っていたメニューは？

Q. 温室効果ガス排出量の小さい順番に並び替えてください

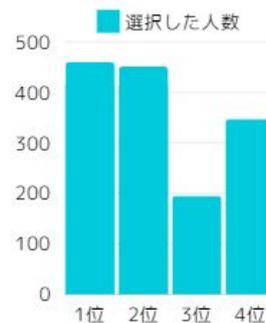
実際の値 : オイルサーディン丼、ネクストキムチカルビ丼、チキン竜田丼、辛みそ豚丼
平均的回答 : ネクストキムチカルビ丼、オイルサーディン丼、チキン竜田丼、辛みそ豚丼

1. 約半数が肉メニューの環境負荷を認識

- チキン竜田丼と辛みそ豚丼を3位or4位に回答したのは**49.4%**
- ランダムに回答すると16.6%なので、一定の認知度は見られる

2. 約一割が完全正解。オイルサーディン丼のギャップが大きい？

- 1・2位だけでなく、4位も多い傾向
- 水産物の環境負荷については情報不足？

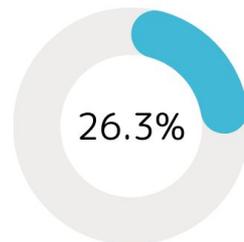


オイルサーディン丼は何番目？

表示ラベルは成功していたか？

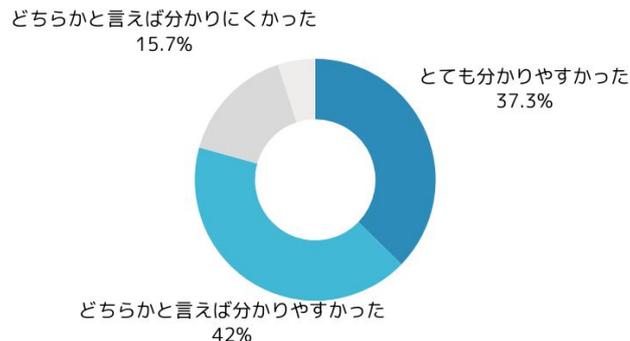
Q. CFP表示ラベルに気づいたか？

- ❑ 気づいていたのは**26%**のみ。
- ❑ 表示メニューが限られていたことも一因
 - ❑ 表示メニューを食べた人の認知率は約半数



Q. ラベルの意味は分かりやすかったか？

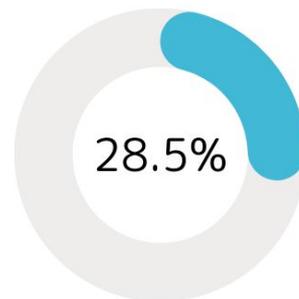
- ❑ 「分かりやすかった」という回答が8割
- ❑ 要望の例
 - ❑ 「もっと目につくところへ置いてほしい」
 - ❑ 「排出量を何かに例えてほしい」
 - ❑ 「もっと詳細を教えてほしい」



CFPラベルは利用者の選択に影響したか？

Q. 表示ラベルはあなたの選択に影響を与えたか？（気づいた方のみ）

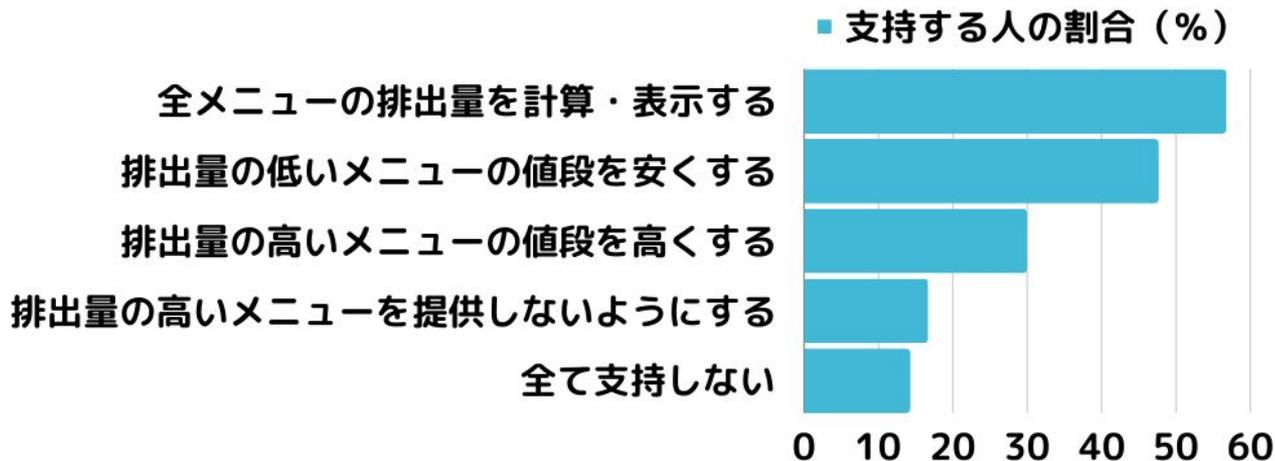
- ❑ **28.5%**が「影響を与えた」と回答
- ❑ ラベルに気づき、さらに行動を変える人は全体では少数派？
- ❑ 実際の影響は販売量等を分析する必要がある



1. 一定の効果はありそう
2. より大きな変化を実現するには、さらなる工夫や、別の取り組みが必要？

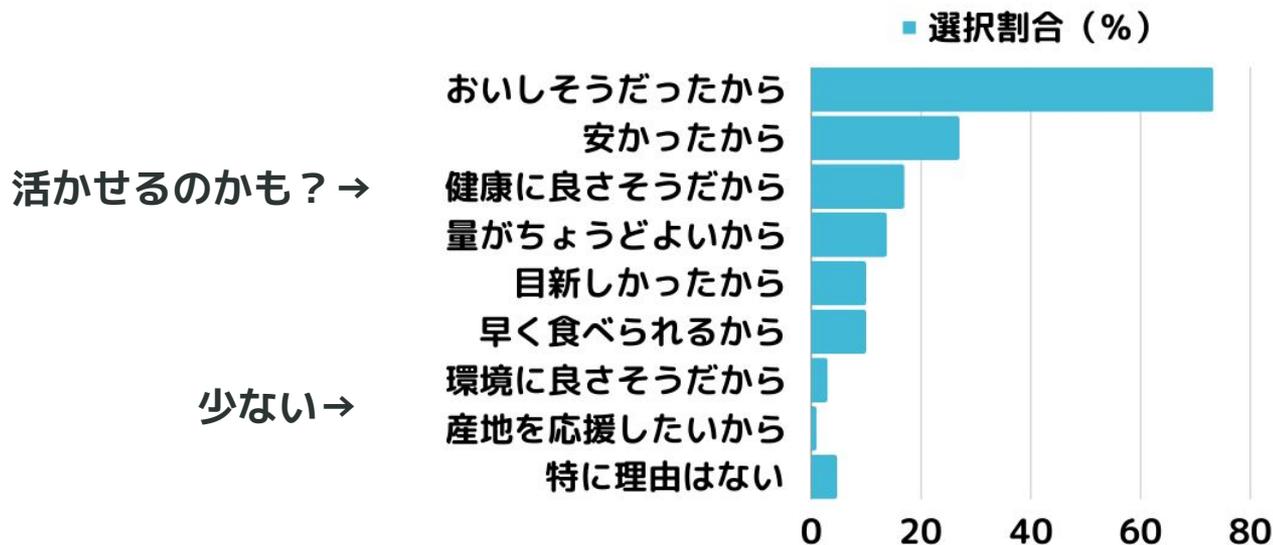
CFP表示への支持は過半数。食の「制限」には反対

Q. 以下は食堂からの温室効果ガス排出量を減らす取り組みの例です。あなたが支持するものを全て選んでください。



環境「以外」の視点からのアピールが必要？

Q. あなたが今日食べたメニューを選んだ理由は何ですか？（複数選択）



A photograph of a log cabin in a forest during autumn. The cabin is built from stacked logs and has a simple wooden roof. It is situated on a grassy area with many trees around it. The leaves on the trees are yellow and orange, indicating the season. The ground is covered with fallen leaves. The text "最後に..." is overlaid in the center of the image.

最後に...

CBD COP15

- 小松崎 俊作 先生
- Marcin Jarzebski 先生

NPUプロジェクト活動方針

- 丹下 健 先生
- 橋本 禅 先生
- 香坂 玲 先生
- 吉田 丈人 先生
- 農生科
ライフサイエンス室

ベースライン調査計画

- 宮下 直 先生
- 小川 みふゆ 先生

弥生 & 駒場 BioBlitz

- 東京大学 環境三四郎
- 東京大学 生物学研究会

NPUプロジェクトの活動にご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます

弥生 BioBlitz

- OEGs育成プログラム
- DO!NUTS TOKYO
- エコツェリア協会
- 農生科 環境安全管理室

駒場 BioBlitz

- 佐藤 みどり 先生
- 駒場 環境委員会
- 教養学部 施設課
- 教養学部 学生支援課
- 教養学部 広報室
- 本部 学務課
- 本部 広報課
- イタリアン・トマト
東大駒場店

未来社会協創推進本部 GX推進分科会
経営企画部 GX推進課

東大食堂CFP見える化キャンペーン

- 東京大学 消費生活協同組合
- 銚子発・CFPの見える
水産加工品流通促進協議会
- 農生科 国際水産開発学 研究室
- 海洋アライアンス連携研究機構
- 栗栖 聖 先生

生物多様性フットプリント分析

- 菊池 康紀 先生
- 東京大学 消費生活協同組合
- Oxford大学 NPUチーム

ネイチャーポジティブ・アクションを一緒に起こしませんか？

- Web <https://www.utokyo-gxsn.org>
- Mail utokyo.gxsn@gmail.com
- Instagram: utokyo_gxsn
- Twitter: @utokyo_gxsn

